



平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 三井倉庫ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤岡 圭
(コード：9302、東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経理部長 藤井 秀之
(TEL.03-6400-8006)

減損損失の計上、連結及び個別業績予想の修正ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期の連結決算においてのれん及び有形固定資産に係る減損損失の計上、当社個別決算において関係会社株式評価損の計上、ならびに子会社の個別決算においてのれんの減損損失及び関係会社株式評価損を計上いたします。これらを受けて、平成 29 年 2 月 13 日に公表した通期連結業績予想、及び平成 28 年 5 月 13 日に公表した通期個別業績予想、ならびに平成 29 年 2 月 13 日に公表した期末配当予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

平成 29 年 3 月期第 4 四半期において、買収により取得した子会社の今後の事業計画を見直したことにより、のれんの減損損失約 20,900 百万円を計上するとともに、投資効率の低い一部の物流事業用資産（土地、建物等）の回収不能見込額について減損損失約 4,600 百万円を計上することといたしました。

(減損損失の主な内容について)

① 三井倉庫ロジスティクス株式会社

(連結決算におけるのれんの減損損失)

家電量販店の店舗向けの物流センター運営、家電の宅配設置業務等を主な事業とする三井倉庫ロジスティクス株式会社の業績は、取扱いエリアの拡大、販売物流の新規業務開始などにより営業収益・利益ともに堅調に推移しております。しかしながら、買収時の事業計画を継続的に下回って推移していることから、今後の事業計画を慎重に見直し、回収可能価額について検討した結果、のれんの減損損失約 13,600 百万円を計上いたします。

(子会社の個別決算におけるのれんの減損損失)

三井倉庫ロジスティクス株式会社の個別決算において、上記の事業計画見直し、回収可能価額を検討した結果、同社の個別財務諸表に計上されているのれんの減損損失約 4,800 百万円を計上いたします。なお、当該減損損失は上記の連結決算におけるのれんの減損損失約 13,600 百万円に含まれております。当該子会社の概要は末尾の参考情報をご参照ください。

② 三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社

(連結決算におけるのれんの減損損失)

日本国内における家電メーカーの工場内物流、商品等の国内外の輸配送等を主な事業とする三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社は、既存の事業を中心に営業収益・利益ともに堅調に推移していることに加え、当社グループとの共同仕入に取組むなどコストサイドのシナジーは着実に寄与し始めております。一方、売上の拡大については、買収当初の想定を下回る見込みであることから、今後の事業計画を慎重に見直し、回収可能価額について検討した結果、同社に係るのれんの減損損失約4,700百万円を計上いたします。

③ MS Supply Chain Solutions (Thailand) Ltd.

(連結決算におけるのれんの減損損失)

タイ国内における家電メーカーの工場内物流、商品等の国内外の輸配送等を主な事業とするMS Supply Chain Solutions (Thailand) Ltd.は、当社グループとのシナジーが買収当初の想定を下回る見込みであります。今後の事業計画を慎重に見直し、回収可能価額について検討した結果、同社に係るのれんの減損損失約1,500百万円を計上いたします。

(子会社の個別決算における関係会社株式評価損)

三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社の個別決算において、上記の事業計画見直しに伴い、同社が保有するMS Supply Chain Solutions (Thailand) Ltd.の株式について実質価額を算定した結果、関係会社株式評価損約2,200百万円を計上いたします。なお、当該関係会社株式評価損は当社の連結決算には影響ございません。当該子会社の概要は末尾の参考情報をご参照ください。

④ MS North Star Logistics Company Limited

(連結決算におけるのれんの減損損失)

タイ国内において主に日用品サプライヤーの輸配送等を主な事業とするMS North Star Logistics Company Limitedは、営業収益はほぼ買収計画どおりに推移しているものの、営業原価に関して、人件費、輸送費が想定を上回る水準で推移しております。今後の事業計画を慎重に見直し、回収可能価額について検討した結果、同社に係るのれんの減損損失約900百万円を計上いたします。

また、①から④に加え、その他の子会社に関して約200百万円のものれんの減損損失を計上しております。

⑤ 物流事業における土地、建物等の有形固定資産

(連結決算における有形固定資産の減損損失)

日本国内の物流拠点における物流施設(土地、建物等)について回収可能価額を検討した結果、兵庫県神戸市における施設について約1,700百万円、東京都江東区における施設について約1,600百万円、その他の施設について約1,300百万円の減損損失を計上いたします。

2. 平成29年3月期通期連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益 (△損失)	1株当たり 当期純利益 (△損失)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	222,000	5,000	2,800	200	1.61
今回修正（B）	225,000	5,800	3,600	△23,300	△187.82
増減額（B－A）	3,000	800	800	△23,500	－
増 減 率	1.4%	16.0%	28.6%	－	－
（ご参考）前年実績 （平成28年3月期）	212,971	3,287	912	211	1.70

修正の理由

のれん及び有形固定資産に係る減損損失の計上により親会社株主に帰属する当期純利益が平成29年2月13日に発表した通期連結業績予想を下回る見込みであることから修正いたします。なお、減損損失は当社の営業キャッシュ・フローに影響を及ぼすことはありません。

3. 個別決算における関係会社株式評価損について

各子会社の回収可能価額の検討において事業計画を見直し、株式の実質価額を算定した結果、当社が保有する関係会社株式について、関係会社株式評価損約23,400百万円を計上いたします（三井倉庫ロジスティクス株式会社に係る株式約16,200百万円、三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社に係る株式約5,600百万円、MS North Star Logistics Company Limitedに係る株式約1,600百万円の評価損を計上）。なお、当該関係会社株式評価損は当社の連結決算には影響ございません。

4. 平成29年3月期通期個別業績予想の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益 (△損失)	1株当たり 当期純利益 (△損失)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	16,000	2,000	700	400	3.22
今回修正（B）	16,600	2,400	900	△22,900	△185.04
増減額（B－A）	600	400	200	△23,300	－
増 減 率	3.8%	20.0%	28.6%	－	－
（ご参考）前年実績 （平成28年3月期）	16,417	2,060	1,027	760	6.13

修正の理由

関係会社株式評価損の計上により当期純利益が平成28年5月13日に発表した通期個別業績予想を下回る見込みであることから修正いたします。

5. 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成29年2月13日発表)	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
今回修正予想	—	0.00	5.00
当期実績	5.00		
前期実績 (平成28年3月期)	5.00	5.00	10.00

修正の理由

前回発表予想（平成29年2月13日）では期末配当を1株5円としておりましたが、通期連結業績予想を修正する状況等を勘案し、誠に遺憾ではございますが、期末配当を無配とする予定です。

（注）業績予想値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる結果となる可能性があります。

（参考情報）子会社の概要

名称	所在地	代表者の 役職・氏名	事業内容	資本金
三井倉庫ロジスティクス株式会社	東京都中央区 日本橋	代表取締役社長 執行役員 石田 幸男	家電量販店の店舗向けの物流センター運営、家電の宅配設置業務等	67億8百万円
三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社	東京都港区西 新橋	代表取締役社長 川崎 成一	日本国内における家電メーカーの工場内物流、商品等の国内外の輸配送等	15億50百万円

以 上